



環境の森センター・きづがわ建設に向けて

～ “環境の森センター・きづがわ”は、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

市では、打越台環境センター（精華町内）に代わる新たなごみ焼却施設として“環境の森センター・きづがわ”（鹿背山地内）の建設に取り組んでいます。

打越台環境センターは、長年、精華町と木津川市の可燃ごみの処理を担ってきた施設ですが、老朽化が進むと

ともに両市町の人口増加にともなって増えるごみ量を処理しきれず、その一部を民間委託している状況です。

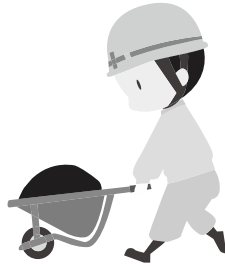
建設現場では、“環境の森センター・きづがわ”の平成30年9月末の完成を目指し工事が進んでいます。

今月は、7月の建設工事の様子をお伝えします。

建築工事では、建物の外壁工事を進めています

7月の建築工事では、炉室・機械室部分の外壁工事をおこないました。内装部分では、機械室内の天井・壁に耐火被覆材を取り付ける工事をおこないました。

また、ごみピット部分では、建物4階の柱や壁、床板の配筋・型枠工事をおこない、コンクリートを打設しました。



建物外壁工事の様子

ボイラー水管の取り付け、高圧受変電設備等の工場検査をおこないました

プラント工事では、6月に取り付けたボイラー機器（水胴、汽水胴）に水管を取り付けました。水管は、ボイラー下部にある水胴と上部にある汽水胴をつなぐ管です。ボイラーに給水された水は、水管を通じて水胴と汽水胴とを循環しながら加熱され、発電に利用する蒸気となります。

また、高圧受変電設備や非常用発電機の工場検査をおこないました。高圧受変電設備では、電気制御回路など

の試験をおこないました。

非常用発電機は、停電などの緊急時に施設内の電力を回復させるために必要となる設備です。このため検査では、非常用発電機が瞬時に立ち上がることや、電気を供給するまでの動作試験などをおこないました。

プラント機器の搬入に際しては、道路沿道の皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



ボイラー水管取り付けの様子



非常用発電機の工場検査の様子

“環境の森センター・きづがわ”の早期稼働に向けて、地元の皆さんをはじめ市民の皆さん、一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。